

# 支部保険者機能強化予算について (第1回)



全国健康保険協会 佐賀支部

協会けんぽ

# 佐賀支部保険者機能強化予算<イメージ>

本部作成資料抜粋

## <2018年度までの予算体系>

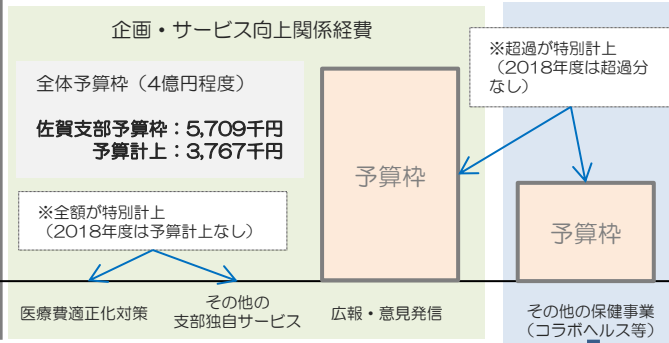
### ①基礎的業務関係予算



### <問題点1>

特別計上により、医療費適正化対策等、支部独自に保険者機能を発揮する取組を打ち出しにくい

### ②特別計上関係予算



■支部事務室賃料や審査医師への謝金など、支部の基本的な業務運営に必要な予算

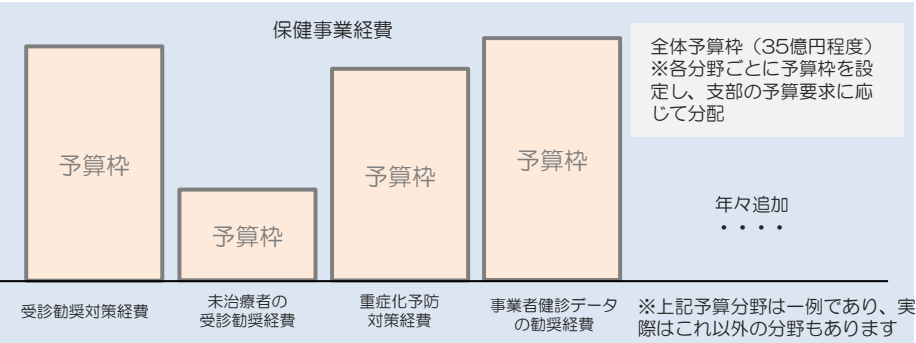
■医療費適正化対策や広報・意見発信など、地域の実情等を踏まえた取り組みを推進するために必要な予算

2019年度からは「支部保健事業予算で計上」

### ③保健事業における重点的な取組等に対し措置してきた予算

### <問題点2>

措置対象の取組が年々追加されており、発足時から制度化していた特別計上やデータヘルス計画との関係が曖昧で、本部支部ともに事務処理が煩雑



■受診勧奨対策や重症化予防対策など、保健事業における重点的な取り組みを推進するために必要な予算

## <2019年度からの予算体系>

## 支部保険者機能強化予算

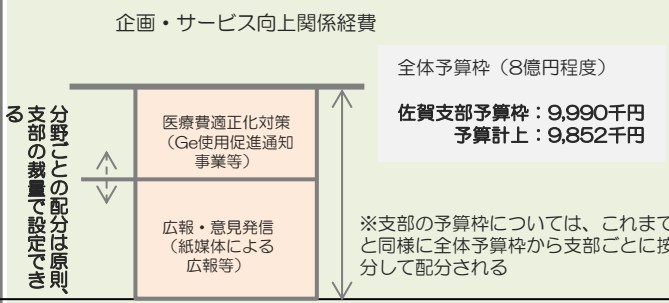
### ①基礎的業務関係予算



### <対応1>

特別計上を廃止することにより、医療費適正化対策等、支部独自に保険者機能を発揮する取組を打ち出しやすい

### ②支部医療費適正化等予算

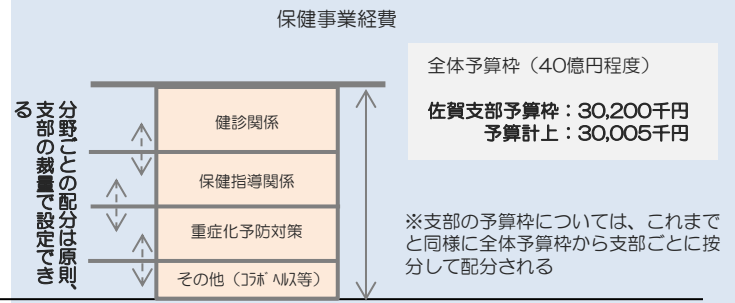


分野ごとの配分は原則、支部の裁量で設定できる

### ③支部保健事業予算

### <対応2>

予算体系を見直すことにより、本部支部ともに事務処理が簡素化される



分野ごとの配分は原則、支部の裁量で設定できる



## 2019年度 佐賀支部の支部保険者機能強化予算＜医療費適正化等予算＞

分野	所属G	取組名	概要	経費(円)
医療費適正化対策	企画	調剤レセプトデータを活用した調剤薬局へのジェネリック医薬品使用促進通知事業	県内の調剤薬局に対して、ジェネリック医薬品使用割合が目標に到達するため、具体的な医薬品の置き換えについての提案等を個別に行う＜医療費適正化、インセンティブ指標＞	4,500,000
	業務	保険証未返納者への電話催告業務委託	文書による催告と併せて電話が繋がりやすい夜間や休日等の時間帯の電話催告業務を外注によりルーチン化し、早期且つ効果的な回収を実施する＜債権発生の抑止＞	418,560
	業務	健康保険被扶養者状況リストの未提出事業所への提出勧奨業務委託	文書勧奨と併せて電話勧奨業務を外注し、リストの提出率アップを図る＜高齢者医療制度への納付金削減、医療機関への適正受診＞	528,000
	レセ	第三者行為による傷病届の届出催告業務委託事業	弁護士名を活用した届出催告通知を行い傷病届の提出率アップを図る＜損害賠償金の保全、債権回収額増による収入増→支部保険料率の減＞	546,000
広報・意見発信	企画	紙媒体による広報(定期的に事業所へ送付するチラシ等)	納入告知書へ同封するチラシ作成	1,131,000
	企画	心の健康づくりフォーラム	県等が主催するフォーラムに共催で参加	55,000
	企画	加入者の理解度向上のための広報	加入者の受診行動と医療費の関係性やインセンティブ制度を周知と併せて意見発信することで加入者の受診行動の変容を促す	2,672,250

計：9,852,000円

\*分野毎に1,000円未満切り上げ

## 2019年度 佐賀支部の支部保険者機能強化予算&lt;支部保健事業予算-①&gt;

分野	区分	取組名	概要	経費(円)
健診関連		事業者健診HbA1c追加検査費	事業者健診データとして取り込むため事業者健診時にHbA1cを実施した場合の費用負担	252,000
保健指導委託		中間評価時の血液検査費	特定保健指導委託機関が数値評価するために血液検査を実施した場合の費用負担	393,000
健診及び保健指導に係る事務		保健指導用データ送料、パンフレット作成費、図書購入費等	保健師等への資料送付費用、保健指導用パンフレット作成費用等	809,000
	集団健診	支部主催の集団健診の実施	①夏季に支部主催の集団健診の実施 ②閑散期に支部主催の集団健診の実施 ③コンビニエンス等を活用した特定健診の実施 ④子育てイベント会場での特定健診の実施 ⑤市町と協力した特定健診強化に係る集団健診の実施	2,817,000
	事業者健診の結果データの取得	外部委託による事業者健診データ取得勧奨	外部委託による事業者健診データ取得勧奨(DM、電話、訪問)	2,920,000
	健診推進経費	生活習慣病予防健診	健診実施機関の過去の実績等を踏まえ、実施機関ごとに目標値を設定し、目標値を超えた数に対してインセンティブを支払う	10,659,000
		事業者健診(同意書の取得)		108,000
	健診受診勧奨等経費	新規加入者への健診案内の送付	任意継続者、新規認定被扶養者へ対して健診案内を送付	438,048
		生活習慣病予防健診、特定健診案内チラシの作成	送付書、チラシ、記入例等の作成	2,093,300
	保健指導利用勧奨経費	特定保健指導受け入れ拒否事業所への受入勧奨業務	一定規模以上の事業所で特定保健指導の受入を拒否している事業所に対して、受入勧奨業務を委託にて実施	990,000

## 2019年度 支部保険者機能強化予算整理結果&lt;支部保健事業予算-②&gt;

分野	区分	取組名	概要	経費(円)
その他保健事業		保健事業計画アドバイザー経費	データヘルス計画に関するアドバイザーを選任	252,000
		保健師等募集広告経費(支部)	募集に係る有料広告の際の費用	50,000
	コラボヘルス事業	健康企業宣言推進事業	・量の拡大: 広報活動の推進(宣言事業パンフレット一式作成、認定作業に向けた準備、認定証+ポスター作成) ・質の向上: 健康宣言事業所のフォロー体制の在り方検討	1,603,000
		未治療者受診勧奨	要治療域の健診受診者に対する医療機関受診勧奨を電話(委託)及び文書にて実施	3,021,000
		重症化予防対策	・治療中の被保険者に対し、佐賀県糖尿病性腎症重症化予防プログラムを基本とする「健康支援プログラム」実施 ・事業主へ受診勧奨協力依頼文書、啓発文書送付	2,462,000
		運動に対する意識(問診項目追加)によって対象者をセグメント化し、セグメント毎のアプローチ方法検討	希望者+特定保健指導対象者に対し、問診票に運動に対する行動変容ステージが判定できるような項目を追加し、行動変容ステージ毎の介入方法に沿ってフォローを実施、検証	286,200
	その他の保健事業	年度年齢39歳の被扶養者へのアプローチ	次年度から特定健診対象者となる被扶養者のうち、希望者へ対して簡易血液検査を実施、次年度からの特定健診の受診促進につなげる。	502,945
		「さが桜マラソン」への参加	佐賀県等主催の「さが桜マラソン」へブースを出展し、支部広報及び保健師による健康相談等を実施	116,600
		「がん征圧県民のつどい」への参加	リレー・フォー・ライフ・ジャパンが展開するがん征圧イベントへブース出展し、健康度測定及び保健師による健康相談等を実施	114,480
		「ばぶばぶフェスタ」への参加	「ばぶばぶフェスタ」会場にて特定健診を実施(健康度測定)	116,600

計：30,005,000円